

■ 1 はじめに

■ 介護人材の確保

介護人材の確保について、平成 27（2015）年 6 月に公表された国の「2025 年に向けた介護人材にかかる受給推計（確定値）」によると、2025 年には約 38 万人の介護人材を追加的に確保する必要があることが示され、また、2025 年以降の高齢者人口の急増と生産年齢人口の減少という新たな局面への対応が必要となっており、こうした中で介護人材の確保に向けては、介護未経験者や外国人を含む多様な人材の確保の推進が求められているところである。

このことは、本県においても同様であり、2025 年に約 3,400 人の介護人材不足が見込まれるとともに、人口減少が進む中で、2045 年頃に高齢者人口のピークを迎え、このことに伴う要介護認定者等の増加も見込まれている。現在、レイカディア滋賀高齢者福祉プランにおいて、2025 年に必要となる介護職員数約 24,200 人を目標として定め、多様な人材の確保や人材育成・定着に向けた取組が推進されているところである。

■ 研修体系の整備と介護職リーダーの養成

今後、介護を必要とする者は増加していくとともに、介護ニーズの複雑化や多様化、高度化が見込まれることから、介護人材の資質向上がより一層求められる。

こうした中、多様な人材の確保も見据え、2018 年 10 月に国の福祉人材確保専門委員会において報告書（介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて）が取りまとめられたところである。

当該報告書において、より良い介護の提供に向けて

- ・キャリアアップが図れる研修体系の整備
- ・介護人材及びサービスの質のマネジメントを担う介護職のチームリーダー養成の必要性に触れられている。

本県においても、介護職のリーダー人材養成の検討が既に行われ、滋賀県社会福祉協議会においては、介護人材の研修体系の構築を行ったところである。

■ どこにもない介護職員チームリーダー研修を実施

本研修は、研修講師による熱心な議論の末、次章の研修コンセプトに基づき「課題解決型学習（PBL）」を基本としたデュアルシステムによる研修として構築され、平成 30（2018）年 9 月「介護職員チームリーダー養成研修」として開催に至ったところである。

この報告書は、この研修の実績と成果について、実地評価も行いながら取りまとめたものであり、かかわっていただく講師、関係機関、またこの研修の受講を検討されている管理職やリーダーまたはリーダークラスの介護職員の皆様にご一読いただきたく作成したものである。